

教員推薦図書 2021年9月

推薦教員	健康・スポーツ心理学科准教授 関谷 大輝 先生	【推薦コメント】 さて、「日本の大学生」である皆さん，“世界でいちばん勉強しない”と断定されていますよ（笑）。反感を覚えた人も、認めざるを得ない人も、この本を通じて、日本の大学での「勉強」について、一度考え直してみてもいいかもしれません。 というのも、皆さんは、4年間で概ね1000万円以上とも試算可能な大金を払って「大学生」という身分と時間を“購入”しています。それなのに、4年間を終えた後に手にするのは、なんと「学位記（卒業証書）」の紙切れ1枚！ それ以外は、皆さんの脳と心に蓄積される（はずの）学びや経験しかありません。それが大学です。 「大卒」とカテゴリに特別な価値はなくなった今日、皆さん自身にとっての（できれば社会にとって…も）、大学での「勉強」の価値を再考することは無駄にならないはずです。もちろん「世界でいちばん勉強しない」学生生活でも、皆さんがそれに意味と価値を見いだせるなら、それはそれでOK。ただ、もし、この本を読んで「もっと勉強したいから教員も変われ!」と思ったなら、ぜひ、教員に「もっとこうして欲しい」と具体的に提案してみてください。それも皆さんの権利です。きっと多くの教員は歓迎してくれるでしょう。
書名	なぜ日本の大学生は、 世界でいちばん 勉強しないのか？	
著者名	辻太一朗 著	
出版社	東洋経済新報社	
請求記号	901106722	
資料ID	377.9 / Tsu	